

# 自分の望む人生を送ることができるよう 妊娠や出産に関する 知識を持ちましょう



## ライフプランを考えたことはありますか？

あなたは将来どのような人生を送りたいか、考えたことはありますか？

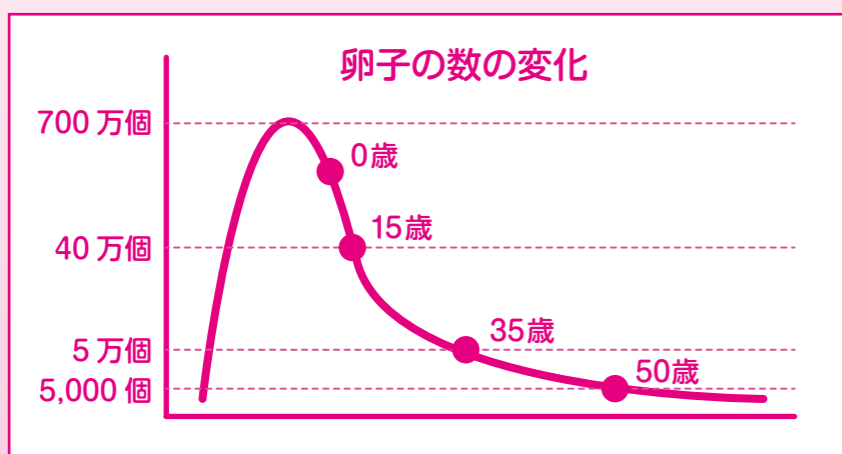
将来の仕事に加え、結婚や、妊娠・出産をどうするかについては、その時期も含め、あなたの自由な意志に基づいて決めることです。希望を実現するために、どんな選択肢があるのか、年齢により体がどう変化するのかなど、正しい知識や情報を得て、ライフプランを考えることが大切です。

## 妊娠と年齢の関係を知らない人が多い？

### ● 医学的に、男女の加齢により妊娠しにくくなるといわれています

妊娠率の低下が起こる原因は、年齢に伴う卵子の数の減少と質の低下といわれています。

卵子は胎児のうち的一生分がつくられ、加齢とともに数が減少し卵子の質も低下します。卵子の問題以外にも婦人科疾患の増加（子宮筋腫、子宮内膜症など）も認め、一般的に30代後半以降となると妊娠しにくくなるといわれています。また、最近では精子を作る機能も加齢と共に低下することなど男性側の原因の増加も指摘されています。



### ● 年齢と妊娠・出産のリスクには関連があることが指摘されています

女性の妊娠時の年齢が高くなると、妊娠初期の流産が増えることに加え、妊娠高血圧症候群や、妊娠糖尿病、出産時の出血量が増加するなどの妊娠に伴う異常が生じる率が高くなり、母体、赤ちゃんへのリスクも高くなります。

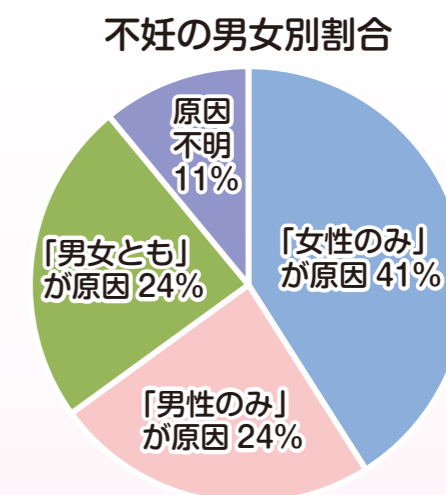
## 不妊症、不育症、がん生殖医療について

### ● 不妊症

妊娠を希望しながらも、妊娠可能な年齢の男女が、避妊をしないで夫婦生活を営んでいるにもかかわらず、妊娠しない期間が1年以上の場合を不妊症といいます。健常な夫婦であれば3か月で約50%、1年以内で90%近くが妊娠すると言われています。

不妊症の原因は、女性側の原因が41%、男性側の原因が24%、男女両方の原因が24%、原因不明が11%と言われています（図）。

近年の生活環境の変化、ライフスタイルの多様化、晩婚化などにより不妊に悩む夫婦が増えています。



出典：WHO(世界保健機関)

### ● 不育症

妊娠はしながらも、流産や死産を繰り返す場合を不育症といいます。流産は約15%に起こり加齢とともに増加します。妊娠したことのある女性の38%は流産を経験しているという報告があり、不育症の割合も5%程度と報告されています。

不育症の原因は、凝固系の異常、子宮奇形、夫婦染色体異常などありますが、ほとんどが原因不明です。

### ● がん・生殖医療

がんに対する診断や治療の進歩により、がんを克服した患者が増えています。しかしながら一部の化学療法や放射線療法は生殖機能に影響を与えるため生殖年齢の若年男女が治療により不妊になることがあります。治療を始める前に卵子や精子、受精卵を保存しておくことで将来の妊娠の可能性を残す治療を「がん・生殖医療」と言います。

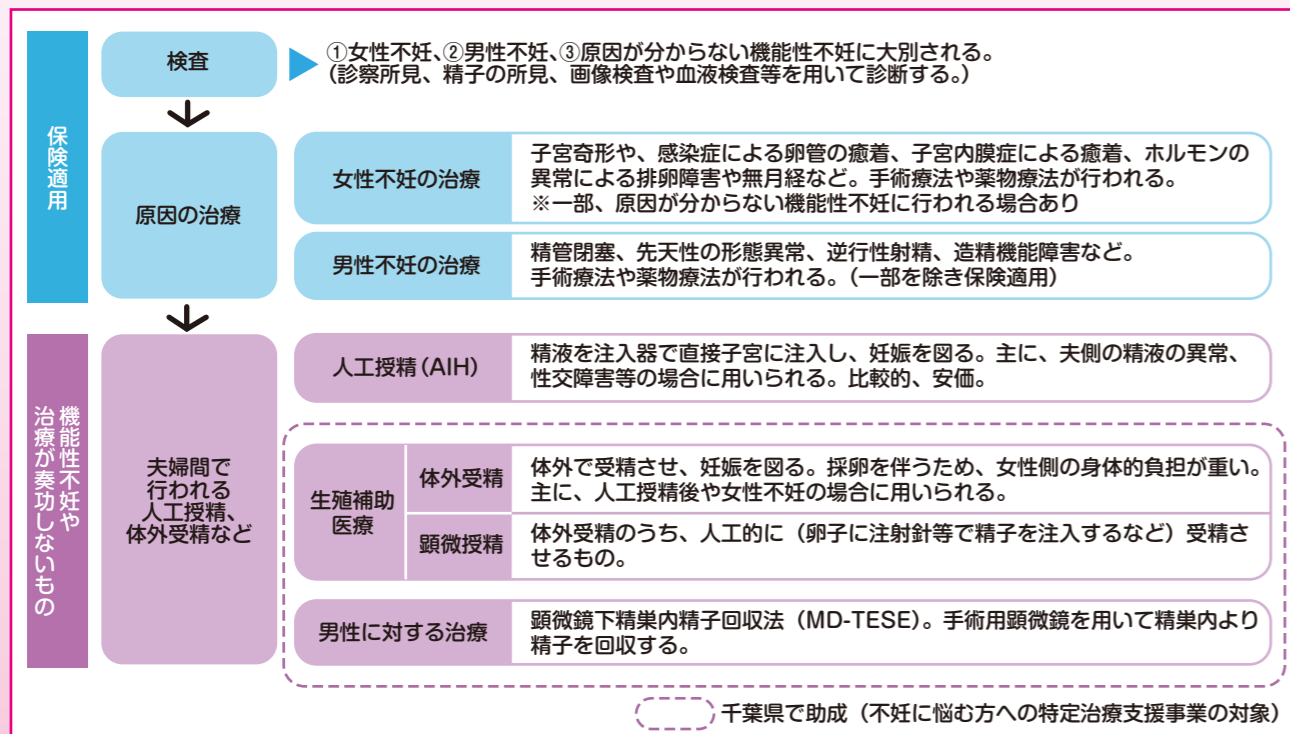
妊娠や出産に関する疑問や悩みについては、裏面の〈安房地区の相談窓口〉までお気軽にご相談ください。



## 不妊治療について

- 女性も男性も、不妊症の原因が様々あります。治療可能な原因が分かった場合は、薬による治療や外科手術を行います。はっきりした原因が特定されないことも少なくありません。
- 具体的な治療法には、排卵時期を超音波や排卵検査薬などで確認し性交渉のタイミングを合わせるタイミング法、精子数が少ない場合やタイミング法で妊娠しない夫婦に排卵時期に精液を調整し注入器で直接子宮内腔に注入する人工授精、タイミング法や人工授精で妊娠しない場合に卵子と精子を取り出して体外で受精させてから子宮内に戻す「体外受精」や「顕微授精」などの生殖補助医療などがあります。
- 不妊治療は、出産に至るか、あるいは、治療をやめる決断をするまで続きます。年齢が若いうちに治療を開始したほうが、1回あたりの妊娠・出産に至る確率は高い傾向がありますが、「いつ終わるのか」を明らかにすることは困難です。治療を始めてすぐに妊娠する場合もあれば、何年も治療を続けている場合もあります。

※若年でも月経不順の方や卵巣を手術した方、子どもを産みたいと思った時の年齢が30代後半以降の場合などは、一度、早めに婦人科での相談をお勧めします。



## 特定不妊治療等の助成(平成30年度)

### 千葉県

**対象治療法**：体外受精及び顕微授精(以下「特定不妊治療」という。)

**対象者**：特定不妊治療以外の治療法によっては妊娠の見込みがないか、又は極めて少ないと医師に診断された法律上の婚姻をしている夫婦(治療期間の初日における妻の年齢が43歳未満である夫婦)

**給付の内容**：①1回15万円(初回の治療に限り30万円まで助成)

※初めて助成を受けた際の治療期間の初日における妻の年齢が、40歳未満であるときは通算6回、40歳以上43歳未満であるときは通算3回まで助成

※凍結胚移植(採卵を伴わないもの及び採卵したが卵が得られない等のため中止したものについては、1回7.5万円)

②男性不妊治療を行った場合は15万円(精子を精巣又は精巣上体から採取するための手術)

**所得制限**：730万円(夫婦合算の所得ベース)

**指定医療機関**：千葉県ホームページをご覧ください。下記★印の【千葉県】特定不妊治療助成申請窓口までお問い合わせください。

### 安房地域

上記千葉県による特定不妊治療の上乗せ事業として、鴨川市及び南房総市においても特定不妊治療費の助成を行っています。また、がん・生殖医療治療費の助成は館山市が行っています。詳細については、各市にお問い合わせください。

## 不妊相談

不妊症、不育症、がん・生殖医療に関する医学的な相談やこころの悩みについては、県が実施する不妊専門相談、特定不妊治療の助成については、安房健康福祉センター又は鴨川地域保健センターへご相談ください。また、市町村も、必要に応じて適切に医療につなげられるよう医療機関と連携を図っています。いつでも気軽に相談することのできる「身近な地域の保健室」として、お気軽にご相談ください。

### 〈安房地区の相談窓口〉

	名称	所在地	電話
★【千葉県】 特定不妊治療 助成申請窓口	不妊専門相談 君津健康福祉センター 偶数月第1火曜日又は第3木曜日 午後2～4時	木更津市新田 3-4-34	☎0468-22-3744
	安房健康福祉センター	館山市北条 1093-1	☎0470-22-4511
	鴨川地域保健センター	鴨川市横濱 1457-1	☎04-7092-4511
【市町村】	館山市健康福祉部健康課	館山市北条 740-1 (館山市保健センター)	☎0470-23-3113
	鴨川市健康福祉部健康推進課	鴨川市八色 887-1 (鴨川市ふれあいセンター)	☎04-7093-7111
	南房総市保健福祉部健康支援課	南房総市谷向 100 (三芳分庁舎)	☎0470-36-1152
	鋸南町保健福祉課	安房郡鋸南町保田 560 (鋸南町保健福祉総合センター)	☎0470-50-1172
【医療機関※】	亀田総合病院	鴨川市東町 929	☎04-7092-2211
	清川医院	館山市北条 1548	☎0470-23-7731
	ファミリー産院たてやま	館山市北条 2186-1	☎0470-24-1135
	青木医院	館山市北条 2290-102	☎0470-22-3805
	亀田ファミリークリニック館山	館山市正木 4304-9	☎0470-20-5511

※医療機関での相談は、診療費用がかかります。

監修 亀田総合病院 生産医療科 部長 川井清考

発行元：安房医師会・館山市・鴨川市・南房総市・鋸南町  
平成31年3月